

# Veritas™ Smart Meter スタートガイド

**VERITAS™**

# 目次

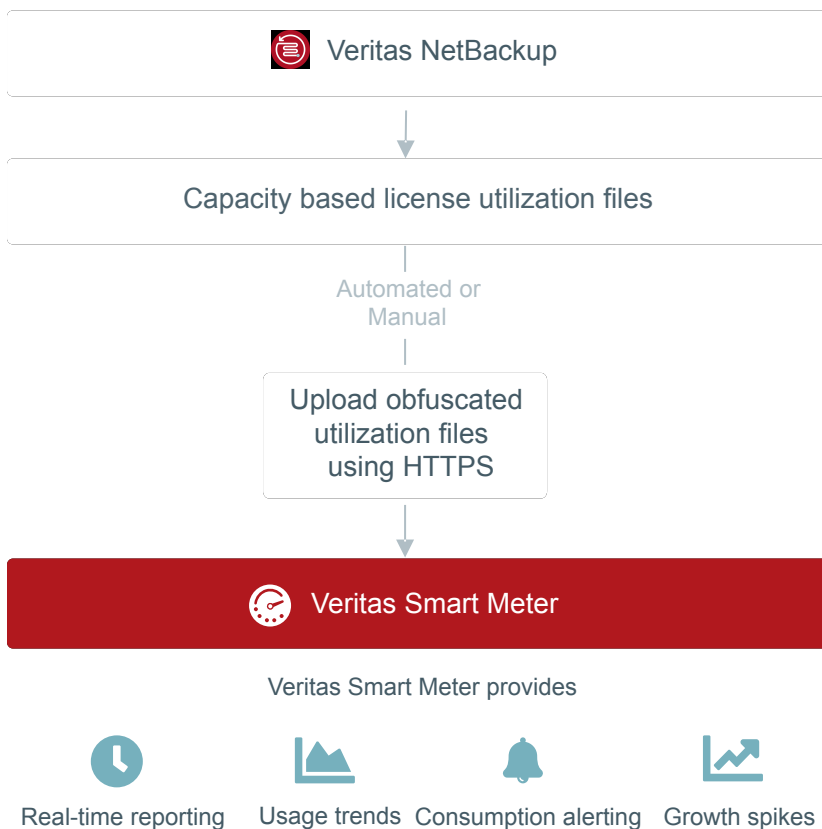
<b>Veritas™ Smart Meter</b> .....	3
<b>Veritas Smart Meter</b> について .....	3
データ保護、プライバシー、およびセキュリティ基準 .....	6
収集されたデータの種類とデータの収集イベント .....	7
遠隔測定データのローカルリポジトリ .....	8
<b>Veritas Smart Meter</b> の有効化 .....	9
顧客登録キーに関する重要な情報 .....	12
ベリタスへのデータ伝送 .....	13
遠隔測定情報の手動アップロード .....	14
よく寄せられる質問 .....	15
詳細情報 .....	22

# Veritas™ Smart Meter

## Veritas Smart Meter について

Veritas Smart Meter は、NetBackup の配備の効率的な管理、傾向の認識、今後の計画の作成に役立ちます。正確なほぼリアルタイムのレポートで、バックアップされるデータの合計量を確認できます。Smart Meter は、ライセンスされている容量の制限を超過しそうになると警告します。Smart Meter を使用するには、NetBackup 8.1.2 以降である必要があります。

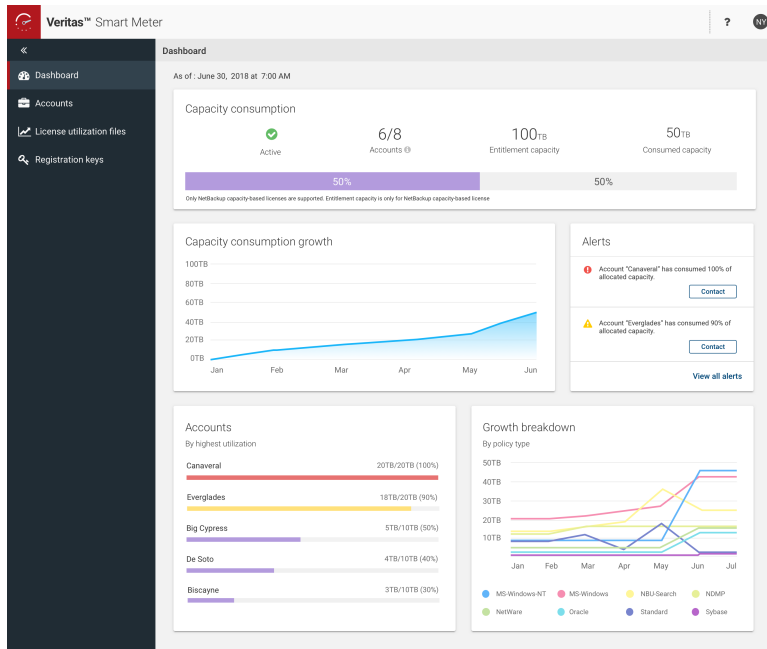
図 1 Veritas Smart Meter の概要



Smart Meter では、次のものが提供されます。

- 保護対象テラバイトの正確でほぼリアルタイムのレポート
- グラフィカルに表示される使用傾向
- ライセンス済み容量が超過する前の使用量トラックと警告
- アカウントごとの簡単な容量計画と予算策定
- 適用の急増または潜在的なギャップの識別

図 2 Veritas Smart Meter ダッシュボード

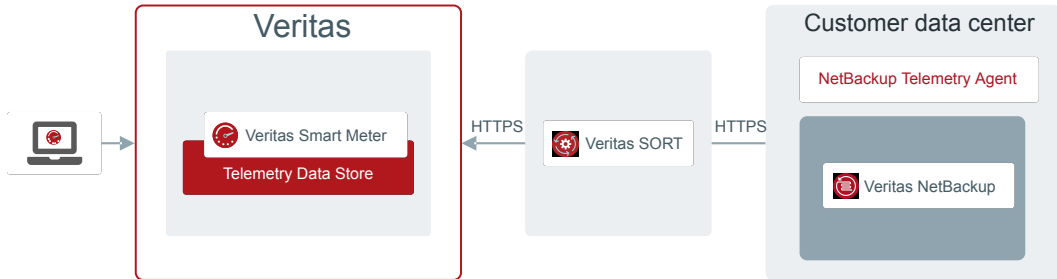


キャパシティライセンス (NDMP、限定版、または完全) を使用しているお客様の場合、**Smart Meter** を使用することで、容量の使用状況を正確に測定して、保護対象の各作業負荷のストレージ使用状況を包括的に把握でき、効率的な容量計画が可能になります。**Smart Meter** では、このようなお客様が遠隔測定データを手動でベリタスにアップロードする必要がありません。

Veritas Smart Meter ポータルには、Google Chrome、Mozilla Firefox、Microsoft Edge を使用して次の URL でアクセスできます。

<https://taas.veritas.com/>

図 3 Veritas Smart Meter の概念アーキテクチャ



## データ保護、プライバシー、およびセキュリティ基準

ベリタスは、お客様のプライバシーとデータのセキュリティをお約束します。Smart Meter では、個人識別情報を含むお客様のデータコンテンツをベリタスに対して可視性がある形で提供することはありません。Smart Meter では、ホスト名や IP アドレスなど、お客様によっては重要であると見なす可能性がある構成データを限定的に収集します。ベリタスは、お客様の視点でこのデータの重要性を認識し、厳しい慣例に従って安全に保護します。ベリタスは、EU 一般データ保護規則 (GDPR) を順守します。ベリタスがお客様のプライバシーを管理する方法と GDPR に対する弊社の責任について詳しくは、次のサイトを参照してください。

<https://www.veritas.com/ja/jp/company/privacy/>

### ベリタスがお客様の個人情報のプライバシーを保証する方法

Veritas Smart Meter では、ユーザーまたはビジネスデータは収集されません。さらに、Veritas Smart Meter では、ファイル、データベース、およびその他の機密情報を記述するデータは収集されません。

ローカルコンピュータにデータが収集されると、顧客固有の情報はハッシュアルゴリズムを使用して覆い隠されます。Veritas Smart Meter では、お客様にユーザー情報の入力が必要とされた任意のフィールドは難読化されます。ポリシー名およびサーバー名が、難読化されたデータの例です。ベリタスは暗号化ハッシュアルゴリズムを使用して顧客固有のデータをマスクします。

### ベリタスが移動中のデータを保護する方法

データを収集し、顧客固有のすべての情報が覆い隠されると、データは業界標準の暗号化方式を使用してベリタスに安全に移動されます。さらに、ネットワークからのすべての Smart Meter のトラフィックはアウトバウンドのみです。

Smart Meter は移動中のデータを保護するために HTTPS プロトコルを使用します。Smart Meter を利用するためには、ネットワーク外への HTTPS トラフィックを許可するようにファイアウォールを構成する必要があります。ベリタスのプライバシー基準に従って、ベリタスサーバー上のすべてのデータの安全性が維持されます。

ベリタスは、次の基準を使用してベリタスに送信されたデータを保護します。

- MD5 および SHA256: 顧客情報を難読化するために使用されるハッシュアルゴリズムです。
- HTTPS (SSL/TLS 暗号化): データ伝送に使用します。

### ベリタスでデータを安全に維持する方法

データをオンサイトで難読化し、ベリタスへの伝送を保護した後は、そのデータは Amazon S3 クラウドに格納されます。S3 のデータは AES 256 で暗号化されます。

## 収集されたデータの種類とデータの収集イベント

お客様のライセンスが付与されたソフトウェアの使用に関連し、ベリタスは Veritas Smart Meter などのさまざまなメカニズムやツールを使い、手段の制限なく、特定情報 (「収集対象データ」) を収集、保持、開示、使用する可能性があります。このセクションの目的において、Veritas Smart Meter は次の情報を収集するように設計されたツールです。Smart Meter はベリタスへの自動データアップロードを可能にするように設計されています。お客様の環境は、自動データアップロードを許可しないように構成できます。

配備情報は次のとおりです。

- 各サーバーに特有のハードウェアとソフトウェアの構成:
  - IP アドレス、IP の種類
  - 完全修飾ドメイン名 (FQDN)
  - エイリアス、ホスト名、ホスト ID、プラットフォーム、アーキテクチャ
- CPU の名前、種類、クロック速度など
- タイムゾーン
- 環境の言語
- オペレーティングシステムのバージョンレベル
- メモリサイズ
- ライセンスが付与された NetBackup ソフトウェアのバージョン、機能、およびインストール済みパッケージ
- 追加インストールしたベリタスパッケージ

使用情報は次のとおりです。

- NetBackup の構成設定
- ポリシータイプおよびプラットフォーム別のクライアント数
- ストレージユニットの構成
- NetBackup バージョンおよびプラットフォーム別のメディアサーバー数
- ポリシータイプ別のポリシー数
- ポリシーの構成
- ジョブレコード
- 保留中のメディアおよび保持レベル別のメディア数
- 操作形式別のストレージライフサイクルポリシー (SLP)
- SLP の構成

更新された最新のデータ収集と使用情報を参照するには、次にアクセスしてください。

<https://www.veritas.com/ja/jp/company/privacy/>

遠隔測定情報を Smart Meter を介して収集し、ベリタスに伝送するように、4 つの異なるイベントによって NetBackup に指示されます。イベントによっては、時間の経過のために、ユーザーの操作とその他によって発生するものがあります。イベントは次のとおりです。

- インストール、アップグレード、およびアンインストールイベント
- ランタイムイベント
- ドメイン情報
- 使用状況レポート

## 遠隔測定データのローカルリポジトリ

お客様は、遠隔測定が有効化された各システム上でベリタスが収集するデータのローカルコピーを確認できます。お客様は、次の場所でベリタスが収集する遠隔測定情報のローカルコピーを確認できます。

- UNIX および Linux の場合:  
`/var/veritas/telemetry/`  
`/usr/openv/var/global/telemetry/dataset`
- Windows の場合:  
`%ALLUSERSPROFILE%\Veritas\telemetry\`  
`install_path\Veritas\NetBackup\var\global\telemetry\dataset`



telemetry ディレクトリと dataset ディレクトリの両方の中に、telemetry\_YYYYmmddHHMMxxx 形式の追加のサブディレクトリがあります。ベリタスに伝送されるデータは、これらの各サブディレクトリ内にあります。

---

**メモ:** 2 番目の Windows の場所 (..¥global¥telemetry¥dataset) は、Windows クラスタによって異なる場合があります。この場所は、遠隔測定がデータを探す場所の外部のレジストリエントリに基づきます。

---

ローカルシステム上のすべての遠隔測定情報は人間が読み取り可能な形式で格納されますが、このデータは MD5 ハッシュアルゴリズムを介して渡されています。すべての顧客固有の情報は収集時に難読化されます。

---

**メモ:** ローカルディスクの使用量が 85% を超えている場合、ローカルリポジトリは空です。データセットは、ディスク容量を過度に消費しないように自動的に削除されます。

---

## Veritas Smart Meter の有効化

Veritas Smart Meter の機能を利用するには、追加の操作を行う必要があります。

図 4 Smart Meter の 3 段階の登録プロセス

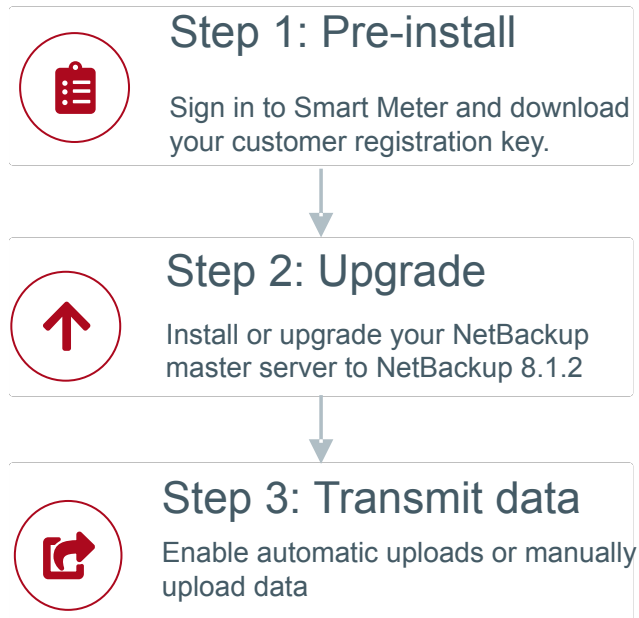


表 1 Veritas Smart Meter プロセスの流れ

手順	処理	追加情報
1	ブレインストール	<p>Veritas Account マネージャクレデンシヤルを使用して、Smart Meter にログインします。インストールまたはアップグレードの前に、顧客登録キーをダウンロードします。このファイルがないと、インストールとアップグレードを続行できません。</p> <p><b>メモ:</b> Smart Meter は、Google Chrome、Mozilla Firefox、Microsoft Edge と互換性があります。Microsoft Internet Explorer では正しくレンダリングされない情報があるため、これを使用することはお勧めしません。</p> <p>必要な顧客登録キーをダウンロードするには:</p> <ul style="list-style-type: none"><li>■ Google Chrome、Mozilla Firefox、または Microsoft Edge を使用して Veritas Smart Meter ポータルに接続します。 <a href="https://taas.veritas.com/">https://taas.veritas.com/</a></li><li>■ Veritas Account マネージャアカウントを使用して、Veritas Smart Meter ポータルにログインします。</li><li>■ Smart Meter に、アカウントに関連付けられているすべてのアカウント ID が表示されます。</li><li>■ [登録キー (Registration Keys)] を選択し、アカウントに関連付けられている [アカウント ID (Account ID)] を見つけます。</li><li>■ [アカウントファイル (Account file)] 列のダウンロードオプションを使用して、顧客登録キーを取得します。 複数のファイルが表示される場合は、指定したマスターサーバーのアカウントに一致する顧客登録キーをダウンロードします。</li></ul> <p>Smart Meter にログインできない、または顧客登録キーをダウンロードできない場合は、ベリタスのサポートにお問い合わせください。サポートからログインと顧客登録キーのダウンロードのための支援を受けられます。サポートが顧客登録キーのダウンロードを支援できない場合、一時的な顧客登録キーファイルが提供されます。</p>
2	アップグレード	<p>Smart Meter には NetBackup 8.1.2 が必要です。これをインストールするか、NetBackup マスターサーバーを NetBackup 8.1.2 にアップグレードする必要があります。このインストールまたはアップグレード処理中に、顧客登録キーを指定する必要があります。</p> <p>『NetBackup アップグレードガイド』に、マスターサーバーを正常にアップグレードする方法の包括的で詳細な情報が記載されています。『NetBackup アップグレードガイド』とその他の関連する NetBackup マニュアルは次の URL から入手できます。</p> <p><a href="https://www.veritas.com/support/ja_JP/article.100040135">https://www.veritas.com/support/ja_JP/article.100040135</a></p> <p>アップグレード方式について詳しくは、『Veritas NetBackup アップグレードガイド』で利用可能な NetBackup のアップグレード方式のセクションを参照してください。</p>

手順	処理	追加情報
3	アップグレードまたはインストール後	<p>アップグレードまたはインストール後、適切または新しい顧客登録キーを NetBackup 8.1.2 で関連付けます。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1 マスターサーバーの次の場所にアクセスします。 <b>UNIX</b> <code>/usr/opensv/var/global/customer_registration</code> <b>Windows</b> <code>&lt;NetBackup_install_directory&gt;%var%global%customer_registration</code> 既存の顧客登録キーは、名前を変更するか削除します。</li><li>2 Smart Meter から適切または新しい顧客登録キー、または集計されたキーを一時的な場所にダウンロードします。</li><li>3 NetBackup Web ユーザーインターフェースを起動します。顧客登録キーをアップロードするプロンプトで、適切なキーを選択してアップロードします。集計された登録キーがインストールされている場合は、ドロップダウンリストから正しいキーを選択します。または、これらの操作にダッシュボードの[使用状況レポート(Usage reporting)]セクションを使うこともできます。</li></ol>
4	伝送	<p>遠隔測定データをベリタスに伝送します。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>■ p.13 の「ベリタスへのデータ伝送」を参照してください。</li><li>■ p.14 の「遠隔測定情報の手動アップロード」を参照してください。</li></ul>

## 複数のマスターサーバーがある環境

複数のマスターサーバーがある環境では、一部またはすべてのマスターサーバーからの使用状況を収集するために、特定のマスター上で nbdeployutil を構成できます。この場合、その特定のマスターサーバーのみを 8.1.2 にアップグレードする必要があります。さらに、その 1 台のマスターサーバーに顧客登録キーを配置する必要があるだけです。このサーバーが、含まれているすべてのマスターサーバーのプロキシとして機能し、遠隔測定情報をベリタスに伝送します。これらのすべてのマスターサーバーが、同じ顧客識別子を使用する必要があります。

nbdeployutil についての詳しい情報を参照できます。『NetBackup 管理者ガイド Vol. 2』と『NetBackup コマンドリファレンスガイド』を参照してください。

## 顧客登録キーに関する重要な情報

顧客登録キーについての次の情報に注意してください。

- 顧客登録キーには、資格情報は含まれません。

- **Smart Meter** にサインインすると、アカウントに関連付けられているすべてのアカウント ID のリストを確認できます。
- 1 つの顧客登録キーまたは集計されたキーをダウンロードできます。
  - 1 つのキーは、1 つのアカウントに関連付けられます。
  - 複数のアカウントの ID に関連付けられている集計された顧客登録キーもダウンロードできます。集計されたキーをダウンロードする場合、**NetBackup Web UI** で、マスターサーバーに関連付けられているアカウント ID を選択するように求められます。
- 顧客登録キーは、**NetBackup 8.1.2** のインストールまたはアップグレード中に必要です。
- 顧客登録キーは、1 台または複数のマスターサーバーと使用でき、アカウントに関連付けられている資格の種類には関係しません。ただし、使用状況レポートは、キャパシティライセンスを使用するアカウントについてのみ使用できます。
- マスターサーバーの使用状況の詳細は、そのマスターサーバーに関連付けられているアカウントに対して報告されます(アカウントは、インストールまたはアップグレード時に選択した顧客登録キーから判断されています)。
- マスターサーバーに関連付けられたアカウント ID を変更するには、次のトピックから、「アップグレードまたはインストール後」セクションを参照してください。  
[p.9 の「Veritas Smart Meter の有効化」](#)を参照してください。
- **Smart Meter** の各アカウント ID について、容量の使用状況を資格があるキャパシティと比較できます。

## ベリタスへのデータ伝送

必要な遠隔測定情報は、次の 2 種類の方法でベリタスにアップロードされます。アップロード方式にどれを選択するかは、お客様の設定によって異なります。

デフォルトでは、データは毎日自動的にアップロードされます。この方式では、ユーザーが操作する必要が少なく、**Smart Meter** データが最新に保たれます。この方式では、HTTPS トラフィックを伝送するためにファイアウォールに開かれているポートが必要です。HTTPS トラフィックのデフォルトのポートはポート **443** です。

使用する環境で自動アップロードが許可されていない場合は、必要な遠隔測定情報を手動でアップロードできます。

[p.14 の「遠隔測定情報の手動アップロード」](#)を参照してください。

## 遠隔測定情報の手動アップロード

使用する環境で Smart Meter データの自動アップロードが許可されていない場合は、必要な使用状況レポート情報を Veritas Smart Meter アプリケーションで手動でアップロードできます。たとえば、エアギャップがある環境の場合、容量データを Smart Meter に提供するために手動アップロード方式を使用できます。この方式では、ベリタスに情報を伝送する前にその情報を確認できますが、Smart Meter 内のデータは正確ではありません。

ベリタスでは、少なくとも月に 1 回、大規模環境の場合はより頻繁に、データを手動でアップロードすることをお勧めします。使用状況通知と監視機能は、最新である場合に最も有効です。

### Smart Meter データをアップロードするには:

- 1 **Veritas Account** マネージャクレデンシヤルを使用して、Smart Meter にログインします。
- 2 画面の左側にある[ライセンス使用状況ファイル (License utilization files)]を選択します。
- 3 表示される画面で、[ファイルのアップロード (Upload files)]を選択します。
- 4 アップロードする遠隔測定ファイルを参照します。Smart Meter の容量使用状況ファイルが見つかる場所は次のとおりです。
  - UNIX および Linux の場合: `/usr/opensv/var/global/incremental/`
  - Windows の場合:  
`install_path¥Veritas¥NetBackup¥var¥global¥incremental`
  - ファイル名:  
`hostuuid_startinterval_netbackup_capacity-utilization.json`

---

**メモ:** このファイルには、Smart Meter に必要な容量使用状況情報のみが含まれています。ベリタスが収集するすべての遠隔測定情報を参照するには、次を参照してください。

p.8 の「[遠隔測定データのローカルリポジトリ](#)」を参照してください。

---

- 5 アップロードするファイルを選択し、[選択 (Choose)]をクリックします。ファイルがベリタスにアップロードされます。
- 6 [ライセンス使用状況ファイル (License utilization files)]画面に、ベリタスにアップロードされたすべてのファイルのリストが表示されます。

表 2

自動	手動
<p>1 顧客登録キー、または 1 つ以上のアカウントのアカウント ID ファイルをダウンロードすることで、Smart Meter のライセンス使用状況遠隔測定を有効にします。</p> <p>2 Smart Meter にサインインした後は、アカウントの顧客登録キーまたはアカウント ID ファイルをダウンロードする必要があります。これらのファイルは、インストールまたはアップグレード中に、ローカルの NetBackup マスターサーバーにインストールされます。</p> <p>すべてのマスターサーバーが Smart Meter に接続でき、データを送信できる場合、すべてのマスターサーバーに顧客登録キーをインストールします。</p> <p>nbdeployutil の実行がスケジュール設定されていることを確認します。これは Smart Meter で使用される使用状況データを生成するツールです。</p>	<p>1 使用する環境で自動アップロードが許可されていない場合は、遠隔測定ファイルをベリタスにアップロードして Smart Meter を更新できます。</p> <p>Smart Meter を使用することで、ライセンスが付与された容量と使用状況をリンクして確認できるように、遠隔測定ファイルを手動でアップロードできます。</p> <p>nbdeployutil の実行がスケジュール設定されていることを確認します。これは Smart Meter で使用される使用状況データを生成するツールです。</p> <p>2 次の場所から、容量 (フロントエンドデータ) 使用状況情報を提供する <code>hostuid_startinterval_netbackup_capacity-utilization.json</code> ファイルをコピーします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ UNIX の場合: <code>/usr/opensv/var/global/incremental</code></li> <li>■ Windows の場合: <code>install_path¥var¥global¥incremental</code></li> </ul> <p><b>メモ:</b> ポリシー名、クライアント名、およびマスターサーバー名は、ファイル内で難読化されます。</p> <p>[ライセンス使用状況ファイル (License utilization files)] ページを使用して、ファイルをアップロードします。</p>

## よく寄せられる質問

表 3 には、Veritas Smart Meter に関するよく寄せられる質問の一部が記載されています。

表 3 よく寄せられる質問

質問	回答
Smart Meter の概要	
Smart Meter がサポートしているブラウザは何ですか	Smart Meter は、Google Chrome、Mozilla Firefox、Microsoft Edge と互換性があります。Microsoft Internet Explorer では正しくレンダリングされない情報があるため、これを使用することはお勧めしません。

質問	回答
左側でクリックしたときに、[顧客登録キー (Customer Registration Keys)]画面が表示されない場合があるのはなぜですか	Smart Meter 画面の URL には、接続が途切れる問題があります。左側の別のオプションのいずれかをクリックし、[顧客登録キー (Customer Registration Keys)]をもう一度クリックすると、URL は <a href="https://taas.veritas.com/#/enableTelemetry">https://taas.veritas.com/#/enableTelemetry</a> にリセットされます。
Smart Meter がサポートするライセンスの種類は何ですか	現在 Smart Meter は、キャパシティベースのライセンスのみをサポートします。ベリタスは、今後ライセンスの種類を追加する予定です。
キャパシティライセンスを使用しない場合も、NetBackup のインストールまたはアップグレード中に顧客登録キーが必要ですか	はい。NetBackup のインストールまたはアップグレードを完了するには、現在のライセンスで登録キーをダウンロードする必要があります。  ベリタスは、今後ライセンスの種類を追加する予定です。登録キーを追加すると、お客様のライセンスの種類が利用可能になったときに、Smart Meter でライセンスを管理および追跡できます。
Smart Meter で顧客名が誤って扱われるのはなぜですか	このような状況が 1% 未満のケースで発生します。このような場合、ERP システムの顧客名を修正するために、テクニカルサポートにお問い合わせください。
Smart Meter は 360 度データ管理バンドルで機能しますか	NetBackup ソフトウェアコンポーネントについてのみ、使用状況および資格が表示されます。
Smart Meter が遠隔測定情報を処理する方法を教えてください	Smart Meter では、ユーザーまたはビジネスデータは収集されません。さらに、Smart Meter では、ファイル、データベース、およびその他の機密情報を記述するデータは収集されません。ローカルコンピュータにデータが収集されると、顧客固有の情報はハッシュアルゴリズム (MD5 と SHA256) を使用して覆い隠されます。Smart Meter では、お客様にユーザー情報の入力求められた任意のフィールドは難読化されます。ポリシー名およびサーバー名が、難読化されたデータの例です。ベリタスは暗号化ハッシュアルゴリズムを使用して顧客固有のデータをマスクします。  データを収集し、顧客固有のすべての情報が覆い隠されると、データは業界標準の暗号化方式を使用してベリタスに安全に伝送されます。さらに、ネットワークからのすべての Smart Meter のトラフィックはアウトバウンドのみです。Smart Meter は移動中のデータを保護するために HTTPS プロトコル (SSL/TLS 暗号化) を使用します。Smart Meter を利用するためには、ネットワーク外への HTTPS トラフィックを許可するようにファイアウォールを構成する必要があります。



質問	回答
ベリタスはデータプライバシーをどのように管理しますか	ベリタスがお客様のプライバシーを管理する方法と GDPR に対する弊社の責任について詳しくは、次のサイトを参照してください。 <a href="https://www.veritas.com/ja/jp/company/privacy/">https://www.veritas.com/ja/jp/company/privacy/</a>
Smart Meter はキャパシティベースの監査のために nbdeployutil を置き換えますか	Smart Meter は、容量を測定するための正式なツールです。nbdeployutil コマンドは、Smart Meter に情報を提供するためのツールです。そのため、nbdeployutil は引き続き使用されます。さらに、nbdeployutil はその他すべての NetBackup ソフトウェアライセンスモデルの記録元として引き続き機能します。
インターネットに接続していない場合に Smart Meter を使用できますか	できますが、インターネット接続があるコンピュータから容量の使用状況の情報を手動でアップロードする必要があります。
ログ転送のために Smart Meter を使用できますか	現在この機能は使用できません。
Smart Meter を試したいのですが、顧客登録キーはどのように入手できますか	ベリタスとの ERP アカウントをお持ちであれば、Smart Meter にアクセスし、登録キーからキーをダウンロードできます。
現在ベリタスの顧客ではありませんが、NetBackup 8.1.2 と Smart Meter を試せますか	NetBackup 8.1.2 のインストールに必要な顧客登録キーをサポートにお問い合わせください。また、Smart Meter にアクセスするためのベリタスとの ERP アカウントも必要です。
NetBackup サポートユーティリティ (NBSU) は、nbdeployutil、Smart Meter などに関する情報、つまり、トラブルシューティングを支援するための証拠を提供する有効な登録キー、キーの種類 (一時、集計、通常)、nbdeployutil 構成ファイル設定、その他の関連するタッチポイントがあることの確認などの情報を収集しますか	NBSU は、nbdeployutil ユーティリティまたはその構成に関する情報を収集しません。
アカウント、資格、ライセンス	
Smart Meter ワークフローは、形式 2 試用版を使用し、VEMS から資格を取得するときに、概念実証にどのように影響しますか	Smart Meter ワークフローでは、概念実証への影響はありません。概念実証で消費されるデータは、その資格に対して測定されるため、その特定の環境で超過を示すことはありません。概念実証マスターサーバーのインストールでは、一時的な顧客登録キーを取得するために、サポートに問い合わせる必要があります。
自分の現在の顧客情報が Smart Meter で正しいことをベリタスはどのように保証しますか	お客様には、すべての情報が正確であることを確認する責任があります。情報が不正確に入力されると、Smart Meter も情報を不正確に報告します。

質問	回答
顧客の事業が分割または統合されるとどうなりますか	<p>ERP と VEMS で、顧客アカウントチームがアカウントの分割および統合のプロセスを処理します。Smart Meter は、他のシステムが更新され、次の手順が実行されたときに、使用状況の情報を取得します。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>■ マスターサーバーがバージョン 8.1.2 で実行されている</li><li>■ 更新された登録キーがマスターサーバーに追加された</li><li>■ データ伝送が設定された (手動または自動)</li></ul>
サービスプロバイダはチャージバックのために Smart Meter を使用できますか	はい。パートナーとお客様の両方にこのポータルへのアクセス権限があるため、同じデータを一緒に表示し、容量超過に対処できます。
容量を増やすために新しい資格を購入した場合、新しい顧客登録キーを入手することになりますか	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 新しい資格が同じアカウントに結び付けられている場合、次回 Smart Meter ポータルにログインしたときに、容量が更新され新しい資格の合計が表示されます。</li><li>■ 新しい資格が同じアカウントに関連付けられていない場合、次のように対応します。<ul style="list-style-type: none"><li>■ テクニカルサポートにお問い合わせください。</li><li>■ 新しい登録キーをダウンロードし、Smart Meter の指示に従って適切なマスターサーバーにキーを追加します。</li></ul></li></ul>

質問	回答
<p>ユーザーとしてビジネスパートナーに Smart Meter データへの表示アクセス権限を付与するには、どのようにパートナーと連携すればよいですか</p>	<p>Smart Meter データの表示アクセス権限を付与するには、次の手順に従います。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>■ パートナーに次の操作を依頼します。 サポートページ (<a href="https://www.veritas.com/support/">https://www.veritas.com/support/</a>) からベリタスアカウントを作成し、クレデンシヤル (ユーザー ID とパスワード) を共有します。</li><li>■ パートナーと連携して次のように操作します。 パートナーが Smart Meter を使用して表示するための VEMS アカウントを識別します。</li><li>■ VEMS アカウントを識別したら、次のように操作します。<ul style="list-style-type: none"><li>■ VEMS にログインします。 <b>メモ:</b> 表示アクセス権限をパートナーに付与するために管理者権限を持っている必要があります。</li><li>■ メインメニューで[資格 (Entitlements)]をクリックしてすべての資格を表示し、[アカウント (Accounts)]列を確認してパートナーが表示するアカウントを識別します。</li><li>■ メインメニューから、歯車アイコンをクリックし、[ユーザーの管理 (Manage Users)]ページで[ユーザーの追加 (Add User)]をクリックします。</li><li>■ パートナーの情報を追加し、各 VEMS アカウントにパートナーのアクセス権限を設定します。管理者、ライセンスキーの生成、ソフトウェアのダウンロードまたは表示の各権限を使用できます。 <b>メモ:</b> パートナーに適切なアクセス権限を付与することを確認します。表示オプションによって、パートナーは Smart Meter のデータを表示できるようになります。</li></ul></li></ul> <p>詳しくは、 <a href="https://www.veritas.com/support/en_US/article.100040083">https://www.veritas.com/support/en_US/article.100040083</a> の VEMS ユーザーガイドを参照してください。</p>
<h3>Smart Meter の設定</h3>	
<p>ドメインアップグレード中に登録キーが必要なときに、ベリタスアカウントがわからない場合、ベリタスのテクニカルサポートはどのような支援ができますか</p>	<p>テクニカルサポートは、Smart Meter にできるだけ多くのお客様が適合するように可能なかぎりサポートします。お客様の NetBackup 環境が機能するように、すべての関連情報とキーを提供できます。ただし、正確な情報を取得するためには、お客様が実際のキーをマスターサーバーに接続する必要があります。</p>

質問	回答
新しいバックアップ管理者の場合、すべての顧客登録キーを再度ダウンロードする必要がありますか	いいえ。管理者によって <b>VEMS</b> 内のアカウントを表示する権限が付与されたら、 <b>Smart Meter</b> にサインインできます。ビューに、以前の管理者に対して表示されたのと同じ使用状況と資格情報が自動的に配置されるはずですが。
<b>Veritas Account</b> マネージャクレデンシアルを持っている人物が組織を離れた場合、 <b>Smart Meter</b> プロセスはどのような影響を受けますか	お客様の組織は、更新されたクレデンシアルとアクセス権限のために、お客様の新しい連絡先情報を <b>VAM</b> システムおよび <b>VEMS</b> システムに提供する必要があります。
<b>NetBackup</b> の設定にネットワーク停止がある場合、 <b>NetBackup</b> と <b>Smart Meter</b> が管理するポータルとの間にどのようなデータの差がありますか	使用状況データの自動アップロードが試行されますが、失敗した場合、データはアップロードされません。このような場合は、使用状況データを手動でアップロードできます。
nbdeployutil 構成ファイルはカタログと一緒にバックアップされますか	はい。nbdeployutil 構成ファイル (nbdeployutilconfig.txt) はカタログバックアップと一緒にバックアップされます。
ディザスタリカバリシナリオでは登録キーはどのような影響を受けますか。カタログバックアップまたは <b>DR</b> パッケージに顧客 ID ファイルは含まれますか	キーファイルは <b>DR</b> パッケージには含まれません。基本ライセンスキーと同様に、インストール時に再適用される必要があります。
使用状況レポート	
<b>Smart Meter</b> は、nbdeployutil ツールを使ったレポートの生成後に、手動で解決する必要があった重複や不正確なデータをどのように解決しますか	<b>NetBackup 8.1.2</b> 以降での重複削減と精度の改善によって、重複データの問題は解決されます。  重複と正確性は、すべての主要な従来の作業負荷 ( <b>Oracle</b> 、ファイルシステム、 <b>SQL</b> 、 <b>Exchange</b> 、 <b>VMware</b> 、および <b>NDMP</b> ) と、新しい作業負荷 (並列ストリームフレームワーク) 全体で改善されています。
<b>Smart Meter</b> の使用と併用して、nbdeployutil ツールを手動で、またはこのツールをスケジュール設定して使用状況データを収集および報告できますか	はい。
自動データ収集の構成後、または使用状況ファイルを手動でアップロードした後に、 <b>Smart Meter</b> に使用日付が表示されません。どうしたらいいですか	nbdeployutil の実行がスケジュール設定されていることを確認します。これは <b>Smart Meter</b> で使用される使用状況データを生成するツールです。

質問	回答
nbdeployutil を実行するタイミングはどのような方法でスケジュール設定できますか	nbdeployutil の頻度を日数で調整できます。 nbdeployutilconfig.txt ファイルの [NBDEPLOYUTIL_INCREMENTAL] セクションにある FREQUENCY_IN_DAYS の設定に基づいて、午前 0 時の後に実行されます。このファイルは次の場所にあります。  UNIX および Linux の場合: /usr/openv/var/global/  Windows の場合: install_path\Veritas\NetBackup\var\global\
データを伝送するタイミングはどのような方法でスケジュール設定できますか	データのアップロードは FREQUENCY_IN_DAYS 値でのみ制御できます。遠隔測定スケジュールは 15 分ごとに起動し、UsageData_Sanitized.out ファイルが存在するときに伝送されます。
Smart Meter が正しく実行され、予想どおりにすべてのデータが伝送されたことは、どのように確認できますか	<b>NetBackup</b> ユーザーインターフェースでは、データが伝送されなかった場合に通知されます。さらに、 <b>Smart Meter</b> にログインし、伝送されたファイルを確認できます。  <b>Smart Meter</b> で、[ライセンス使用状況ファイル (License utilization files)] を選択し、[容量使用状況ファイル (Capacity utilization files)] テーブルの情報を確認します。このテーブルに、アップロードされたファイルと、アップロードされたときの詳細が示されます。  upload-nb-usagereporting.json ファイルを調べることもできます。このファイルには、成功または失敗した最新のアップロードやその他の情報が示されます。このファイルは次の場所にあります。  UNIX および Linux の場合: /usr/openv/var/global/telemetry/status/  Windows の場合: install_path\Veritas\NetBackup\var\global\telemetry\status\
マスターサーバーが廃止された場合、Smart Meter に自動的に表示されなくなりますか	はい。サーバーは 1 日後に <b>Smart Meter</b> に表示されなくなります。
ポータルで使用状況のレポート用に設定したマスターサーバーが廃止された場合、どうなりますか	使用状況レポートの履歴データは <b>Smart Meter</b> ポータルで使用できますが、廃止後は、ポータルは新しいデータを受信しなくなります。
nbdeployutil レポートを Smart Meter 用にルートするための特別な IP アドレスはありますか	<b>NetBackup</b> 遠隔測定と <b>Smart Meter</b> のデータはどちらも <a href="https://telemetry.veritas.com">https://telemetry.veritas.com</a> を使用するため、この URL にポートを開く必要があります。デフォルトでは、HTTPS トラフィックは 443 番ポートを使用します。

質問	回答
Smart Meter がすべて正しく設定されたことはどのように確認できますか	データが Smart Meter に表示されるようになるわかります。デフォルトでは、NetBackup は 443 番ポートを使用します。
使用状況データが NetBackup Web ユーザーインターフェースまたは Smart Meter で報告または更新されないのはなぜですか	考えられるいずれかの原因については、次の記事を参照してください。 <a href="https://www.veritas.com/support/en_US/article.100044028.html">https://www.veritas.com/support/en_US/article.100044028.html</a>
PURGE_INTERVAL の値を使用して nbdeployutil コマンドを構成し、情報を保存できます。Smart Meter ポータルでは、90 日間よりも長い期間が報告されますか。nbdeployutil の PURGE_INTERVAL を 365 日間に設定した場合、Smart Meter ポータルは 365 日分のデータを表示しますか	nbdeployutil のページ間隔と Smart Meter との間に関係はありません。nbdeployutil のページ間隔は、マスターサーバーのローカルで生成されるレポートファイル (.xls) のみ関係します。

## 詳細情報

Smart Meter サービスに関する追加情報について、またはここで説明されていないご質問の回答については、ベリタスのセールス担当者またはお客様サポートにお問い合わせください。

セールス担当者をご不明な場合、ベリタスにお問い合わせください。

<https://www.veritas.com/ja/jp/company/contact>

ベリタスのパートナーの場合、PartnerNet ポータルを使用できます。

<https://partnet.net.veritas.com/portal/faces/home>

- 米国のお客様サポート:
  - 1-866-837-4827 または 1-512-813-2376
  - [CustomerCare@veritas.com](mailto:CustomerCare@veritas.com)
  - [https://www.veritas.com/content/support/en\\_US/contact-us.html](https://www.veritas.com/content/support/en_US/contact-us.html)
- 地域別のお客様サポート
  - <https://www.veritas.com/company/contact>

ベリタスがお客様のプライバシーを管理する方法と GDPR に対する弊社の責任について詳しくは、次のサイトを参照してください。

<https://www.veritas.com/ja/jp/company/privacy/>

ベリタスの権利管理システムについて詳しくは、次を参照してください。

[https://www.veritas.com/support/ja\\_JP/article.100040083](https://www.veritas.com/support/ja_JP/article.100040083)

ライセンスの正確性は、お客様の責任です。ベリタスは **Smart Meter** でのデータの手引きを提供しています。